

洲浜 源一 先生を送る

洲浜源一先生は、2001年4月に尾道大学経済情報学部が発足すると同時にミクロ経済学、計量経済学外をご担当の教授として着任され、7年間在任された。先生は、わが学部を立ち上げるための要員の1人として招かれた教授であり定年規程の枠外であったが、2008年3月末日をもって勇退された。

温厚なお人柄により創設期のわが学部を今日まで率いてきた先生の功績は誠に偉大なものがある。そこで、わが教授会が全会一致で先生を尾道大学名誉教授に推挙した結果、先生に対しては4月1日付けをもって尾道大学名誉教授の称号（第10号）が授与された。

さて、先生は、1936年11月に香川県高松市塩屋町にお生まれになった。先生は、昭和10年代の日本が戦争に突き進む動乱期に幼少年期を過ごされた。入学された小学校は当時国民学校と呼ばれた築地小学校であったが、小学校の教師であった尊父のご転勤により高松市郊外の古高松小学校に転校して高松町から高松空襲をながめたという。古高松小学校時代には、朝礼中にアメリカ海軍のグラマン戦闘機からの機銃掃射をあびるという恐怖の体験をしたそうである。結局、ご卒業したのは新塩屋町小学校であった。松島（現光洋）中学校、高松第一高等学校をへて、新制大学の香川大学経済学部に進学された。同学部は高松高等商業学校を前身に持つ名門であるが、北は小樽高商から南は長崎高商まで10校あった官立の高等商業学校の中で唯一空襲の被害を受けた高商こうしょうであった。

高松高商は、1945年7月4日未明におけるアメリカ軍B29爆撃機による高松空襲により校舎や蔵書が灰燼に帰し、大学昇格に際して塗炭の苦しみをなめた学校であった。したがって、必ずしも勉学の条件には恵まれていなかったが、洲浜先生は、東北帝国大学理学部をご卒業され、高松高商以来在職されていた統計学の泰斗であった北条時重教授と、北海道大学理学部をご卒業になった慎太郎刈りの新進の数学者であり、後に香川大学学長となった木村等助教授のjoint seminarに参加した。理数系に抜群の才能を持つ洲浜先生は、北条先生と木村先生のご指導によりその才能を大きく開花させ、統計学者となるべく学究の道を進む。

先生は、1959年4月に神戸大学大学院経済学研究科修士課程に進まれ1961年3月に経済学修士号（神戸大学経修第62号）を取得された。恩師は経済統計学の泰斗であった家本秀太郎教授であったが、後に奇しくも尾道大学で同僚となる安井修二氏が2年先輩として在籍していたそうである。

先生は、1964年3月に神戸大学大学院経済学研究科博士課程を満期退学の後、名古屋学院大学講師をへて1972年10月に大阪府立大学経済学部助教授に就任する。以後先生は同大学で28年間勤務され、多くの俊秀を世に送り出すとともにご研究に没頭された。先生のご

研究の分野は、投資関数の計量分析や計量経済学の統計的推定理論、ゲーム理論の研究等の多方面にわたる。その成果は『観測不可能な変数を含む経済モデルの推定』（大阪府立大学経済研究叢書、第50冊、1979年）、『回帰誤差をめぐる問題』（同、第82冊、1995年）という2つの monographs として公刊され、先生の学界における名声は大いに高まった。特に後者は、1995年1月の阪神淡路大震災の直後に完成したという。

先生は、2000年3月に大阪府立大学を定年退職後、冒頭にのべたように2001年4月に尾道大学経済情報学部に着任された。先生は、同年6月から尾道大学の評議員という重責を担われ、創設期の尾道大学を立ち上げるに当たり大いに貢献された。2004年秋に学部長選挙が行われ一旦は安井修二教授が当選したが、安井教授は大学院経済情報研究科長の職務に専念したいとおっしゃり学部長への就任を固辞された。再度の学部長選挙の結果、衆目の一致するところにより洲浜先生が第3代学部長に就任した。先生は心中期するものがあったようで、在任中に尾道大学の自己評価報告書や経済情報学部の人事規程の作成に心血を注がれ、尾道大学およびわが学部の基礎を固められた。

先生は7年間にわたり学部と大学院において多くの学生を育てるとともに、計量経済学のご研究に専念された。先生のご研究の特徴は、わが学部の菅準一教授によれば「理論的研究により深い理解に到達した計量経済学的手法を現実の分析対象に適用し、現実のデータに潜む事実を浮かび上がらせるとともに理論的ツールが現実をいかに深くえぐることができるかを明示していることにある。」という。

余談であるが、先生は又信人^{ゆうしんじん}でもあるので、私が2003年4月に着任した後なにかにつけてご相談をした。先生の警咳に接したのは5年間という短い期間であるが、特に学部長を仰せつかったこの1年間はいろいろな面でご指導をいただいた。先生のお姿を教授会においてはもう拝見できないと思うと、胸中に大きなうつろが生じた感じがする。

先生はお元気でまだまだお若い。しかし、お体を一層ご自愛されて、10年にも満たないわが学部の今後を暖かく見守っていただきたいと思う。

2008年4月

尾道大学経済情報学部長

尾道大学大学院経済情報研究科長

西 山 一 郎